



有明山将軍塚古墳の登山と見学

塩入 連斗



有明山将軍塚古墳について

有明山将軍塚古墳は4世紀終わりから5世紀初めごろに作られたとされる古墳です。

そして副葬品として、ヒスイ製の勾玉や緑色凝灰岩製管玉、鉄製武器の破片が見つかっていますが、その他の多くが盗掘されていたようです。

また古墳に埴輪が並べられていなかったため埴輪を並べていた森将軍塚古墳と異なる埋葬儀式を行っていたと考えられています。

登山中での発見



森将軍塚古墳

全長100mの大きい前方後円墳

昔ここを収めていた大王が眠っていた

周りに古墳群がある

土器や刀、矢じり、玉類などが多く見つかった



黒色泥岩

堆積した泥が積み重なって合わさりできた岩

硬いけれどすぐ砕きやすい

表面が黒っぽい

登山した感想

古墳館→黒色泥岩の所→森将軍塚古墳→有明山将軍塚古墳→森将軍塚古墳→古墳館のルートで登山(下山)したけれどとても大変な道のりですごく疲れました。けれど古墳館→森将軍塚古墳までの途中にはところどころ休憩所があるので休みながら進むことができると思うので行ったことのない人はぜひ見に行ってみて歴史を感じてほしいと思います。

また有明山将軍塚古墳では街を上から見回すことができとてもきれいなのでぜひ行ってみてください。



終わり

